

読 書 会

科目責任者：北 村 聖（教育開発・国際交流センター 教育研究開発部門）

I. 前 文

「患者に寄り添う良医」という言葉を見た時に、具体的にどのような医師像を思い浮かべるだろうか。本選択科目では患者から信頼される医療人を目指し、日々の研鑽に励むときに明確にイメージすることの難しい「良い医者」とは何かを、様々な本を読むことで考察する。患者をケアするという事、死にゆく患者への向き合い方、正解のない問いなどを考える過程で、医師のプロフェッショナルリズムの涵養することを目的とする。

この講義に参加すると、科学的に意思決定ができるようになります。患者とのコミュニケーションが良好になります。さらに、メタ分析を用いた視野の拡がり体験ができます。

II. 受入可能人数

原則人数は制限しないが20名程度を考えている。最低人数2人。

III. 担当教員

特任教授 北 村 聖（教育開発・国際交流センター 教育研究開発部門）

IV. 学習内容

課題本の内容についてディスカッションやグループワークを通じ、学生自身が主体となって考えてもらい意見交換をすることで、読書した内容の理解を深めていく。

通常は1ヶ月に1回程度で実施し、日程等は本選択科目を選んだ学生と調整する。

V. 学修の到達目標

社会人として求められる高い倫理観と教養を持つことを目指す。

VI. 成績評価の方法・基準

受講態度等を形成的に評価するとともに、読書内容に関連したレポート課題で総括的な評価をする。

VII. 使用する教材・資料など

必要に応じてその都度紹介する。

VIII. 質問への対応方法

メール：kitamura-ky@umin.ac.jp

IX. 求められる事前学習、事後学習及びそれに必要な時間

事前学習：図書館も利用しながら許す範囲で購読し、読書の習慣を身につける。(30分)

事後学習：各回の議論の内容を咀嚼してもう一度課題本に立ち返り各自の人生航路の糧とする。(30分)

X. コアカリ記号・番号

PR-04：生命倫理

LL-01：生涯学習

CS-05：医療の質と患者安全

XI. 課題（試験やレポート）に対するフィードバックの方法

課題本の内容および各回のディスカッションの内容を踏まえたレポート課題への添削/コメントを通じてフィードバックとする。

XII. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

*◎：最も重点を置く DP ○：重点を置く DP

ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）	
医師としてのプロフェッショナリズム 幅広い教養，利他の精神，医師に求められる品格を身につけ，豊かな人間性を育み，他の医療者と協調して，多様な価値観を尊重する全人的な医療を実践できる	◎
能動的学修能力 医学知識・技能を主体的に学び，情報・科学技術を活用して，生涯にわたって自ら問題を発見し，解決することができる	◎
地域医療の理解 地域社会における医療の役割と，その中核を担う意味を理解できる	○
国際性 国際社会における医学・医療の動向や課題を理解し，課題解決に向けて行動することができる	
リサーチマインド 研究活動における積極的な創造・発信に挑み，医学・医療の進歩に貢献することができる	○

二学年